



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月12日

上場会社名 中本パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7811 URL http://www.npacks.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河田 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 吉 功 TEL 06-6762-0431
 四半期報告書提出予定日 2020年10月12日 配当支払開始予定日 2020年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	17,161	△0.2	784	3.1	807	1.6	683	23.2
2020年2月期第2四半期	17,197	0.3	761	△14.4	794	△13.9	554	△7.9

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 660百万円 (52.6%) 2020年2月期第2四半期 432百万円 (△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	83.63	—
2020年2月期第2四半期	67.87	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	30,833	13,673	40.6	1,530.37
2020年2月期	27,568	12,419	43.9	1,479.33

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 12,506百万円 2020年2月期 12,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2021年2月期	—	28.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	1.2	1,629	6.2	1,650	2.6	1,148	5.7	140.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）NAKAMOTO PACKS VIETNAM COMPANY LIMITED、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	8,173,320株	2020年2月期	8,173,320株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	1,028株	2020年2月期	1,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	8,172,292株	2020年2月期2Q	8,172,305株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2020年10月19日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する四半期決算説明資料については、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にありました。個人消費は一部で持ち直しの動きが見られるものの感染症の影響により低水準で推移、企業収益も大幅な減少が続いており、先行きも当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況の下、「改質エコ技術でパッケージングの世界を変える Nブランド製品の拡販と環境経営の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」をスローガンに、環境への負荷を低減できる開発製品の販売、製品の安定供給、生産効率・品質の向上に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は17,161百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は784百万円（同3.1%増）、経常利益は807百万円（同1.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は683百万円（同23.2%増）となりました。

製品用途別の経営成績は次のとおりであります。

(食品関連)

外出自粛・在宅勤務が拡大したことにより、来店客数に影響が出たコンビニエンスストアやデパ地下向け包材、外食向けの業務用包材は減少しましたが、中食や内食需要の高まりにより冷凍食品、乳製品、豆腐などのスーパーマーケット向け包材は好調に推移しました。また、汎用性の高い持ち帰り用の容器・トレー向け商材は堅調であったことにより、売上高は11,734百万円（前年同期比0.5%増）となりました。利益については、行楽やイベント用の比較的高価格帯の容器・トレー向け商材が大幅に減少したことにより、売上総利益は1,249百万円（同7.2%減）となりました。

(IT・工業材関連)

電子部品製造用フィルムやスマートフォン用途は堅調に推移しました。しかし、世界的な自動車販売不振の影響を受けた自動車内装材や、新型コロナウイルス感染症対策で工場への訪問を制限したことにより立会試作が減少した結果、売上高は2,085百万円（前年同期比5.9%減）となりました。利益については、リピート品や自社開発品であるNSセパを中心に生産効率の向上に努めた結果、売上総利益は596百万円（同14.2%増）となりました。

(医療・医薬関連)

病院関連で輸液関係包材が増加、新型コロナウイルス関連で防護服やフェイスシールドなどの加工を受託しました。また、貼付剤関連ではジェネリック医薬品用フィルムの受注も堅調に推移した結果、売上高は823百万円（前年同期比26.4%増）、売上総利益は139百万円（同5.3%増）となりました。

(建材関連)

建材印刷の家具関連は低調でしたが、前年に導入した新型塗工機を使った機能性建材が順調に推移、生産効率も向上したことにより、売上高は793百万円（前年同期比11.8%増）、売上総利益は117百万円（同43.6%増）となりました。

(生活資材関連)

新型コロナウイルス感染症の影響により、ショッピングモール等の営業自粛やテレビショッピングのスタジオ収録延期などによる販売機会の喪失により、売上高は1,524百万円（前年同期比5.9%減）、売上総利益は496百万円（同0.7%減）となりました。

(その他)

サーマルレジ用紙や各種プラスチックフィルム等の販売が減少したことと、前年同期にあった機械販売の反動減により、売上高は200百万円（前年同期比39.1%減）、売上総利益は48百万円（同25.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,265百万円増加し、30,833百万円となりました。

流動資産につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により電子記録債権が106百万円、たな卸資産が546百万円それぞれ増加したことや、短期借入金の増加等により現金及び預金が1,606百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,447百万円増加し、16,836百万円となりました。

固定資産につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により有形固定資産が784百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ817百万円増加し、13,996百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,011百万円増加し、17,159百万円となりました。

流動負債につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により支払手形及び買掛金が614百万円、電子記録債務が165百万円、賞与引当金が95百万円それぞれ増加したことや、短期借入金が1,017百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,965百万円増加し、14,112百万円となりました。

固定負債につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により退職給付に係る負債が106百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、3,047百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,253百万円増加し、13,673百万円となりました。これは、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により非支配株主持分が836百万円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が454百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ1,606百万円増加し、4,149百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,632百万円(前年同四半期は、6百万円の減少)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益929百万円、減価償却費479百万円、段階取得に係る差損99百万円、売上債権の減少額567百万円及び仕入債務の増加額339百万円等による増加要因が、負ののれん発生益227百万円、たな卸資産の増加額335百万円及び法人税等の支払額170百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、778百万円(前年同四半期は、591百万円の減少)となりました。これは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入72百万円等による増加要因が、生産加工設備等の有形固定資産の取得による支出767百万円等による減少要因を下回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、766百万円(前年同四半期は、229百万円の増加)となりました。これは、短期借入金の純増額1,030百万円及び長期借入れによる収入429百万円等による増加要因が、長期借入金の返済による支出430百万円及び配当金の支払額228百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月13日に公表いたしました2021年2月期の連結業績予想について変更はございません。今後の新型コロナウイルス感染症の影響や経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,558,645	4,165,362
受取手形及び売掛金	7,459,399	7,411,957
電子記録債権	1,357,278	1,463,663
商品及び製品	1,756,580	2,158,143
仕掛品	357,538	353,535
原材料及び貯蔵品	605,369	754,792
その他	298,883	538,006
貸倒引当金	△4,539	△8,893
流動資産合計	14,389,156	16,836,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,485,812	5,484,268
機械装置及び運搬具(純額)	2,019,335	2,274,069
土地	2,928,210	3,140,388
その他(純額)	960,703	1,280,191
有形固定資産合計	11,394,061	12,178,917
無形固定資産	339,088	383,704
投資その他の資産		
その他	1,472,882	1,461,214
貸倒引当金	△27,145	△27,145
投資その他の資産合計	1,445,736	1,434,068
固定資産合計	13,178,886	13,996,690
資産合計	27,568,043	30,833,258

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,871,952	3,486,220
電子記録債務	3,625,117	3,791,050
短期借入金	3,711,360	4,728,390
1年内返済予定の長期借入金	777,462	774,222
未払法人税等	207,975	266,184
賞与引当金	214,602	310,105
その他	738,445	756,006
流動負債合計	12,146,915	14,112,180
固定負債		
長期借入金	2,200,319	2,201,833
退職給付に係る負債	176,610	283,180
その他	624,318	562,368
固定負債合計	3,001,248	3,047,381
負債合計	15,148,163	17,159,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,468	1,057,468
資本剰余金	1,158,408	1,158,408
利益剰余金	9,502,455	9,957,058
自己株式	△1,039	△1,039
株主資本合計	11,717,292	12,171,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,517	113,810
繰延ヘッジ損益	3,305	382
為替換算調整勘定	276,306	233,670
退職給付に係る調整累計額	△9,881	△13,117
その他の包括利益累計額合計	372,247	334,746
非支配株主持分	330,339	1,167,054
純資産合計	12,419,879	13,673,696
負債純資産合計	27,568,043	30,833,258

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）
売上高	17,197,465	17,161,773
売上原価	14,549,051	14,513,522
売上総利益	2,648,414	2,648,250
販売費及び一般管理費	1,887,092	1,863,570
営業利益	761,322	784,680
営業外収益		
受取利息	1,424	947
受取配当金	9,565	9,491
持分法による投資利益	1,396	2,373
受取地代家賃	13,637	13,539
その他	77,881	69,227
営業外収益合計	103,905	95,579
営業外費用		
支払利息	40,195	36,379
為替差損	16,652	22,642
その他	13,626	13,537
営業外費用合計	70,474	72,560
経常利益	794,753	807,699
特別利益		
固定資産売却益	—	149
負ののれん発生益	—	227,983
特別利益合計	—	228,133
特別損失		
固定資産除却損	1,056	6,692
投資有価証券評価損	4,774	—
段階取得に係る差損	—	99,206
特別損失合計	5,831	105,898
税金等調整前四半期純利益	788,922	929,934
法人税等	230,484	223,956
四半期純利益	558,438	705,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,772	22,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	554,665	683,427

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	558,438	705,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,363	13,671
繰延ヘッジ損益	△2,348	△2,922
為替換算調整勘定	△62,866	△50,829
退職給付に係る調整額	△7,887	△3,235
持分法適用会社に対する持分相当額	△285	△2,377
その他の包括利益合計	△125,750	△45,694
四半期包括利益	432,687	660,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,406	646,497
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,718	13,785

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	788,922	929,934
減価償却費	483,298	479,239
のれん償却額	14,319	14,319
負ののれん発生益	—	△227,983
段階取得に係る差損益(△は益)	—	99,206
持分法による投資損益(△は益)	△1,396	△2,373
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△295	△205
賞与引当金の増減額(△は減少)	78,590	57,422
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33,276	△19,973
受取利息及び受取配当金	△10,990	△10,439
支払利息	40,195	36,379
為替差損益(△は益)	20,609	16,552
投資有価証券評価損益(△は益)	4,774	—
固定資産除却損	1,056	6,692
固定資産売却損益(△は益)	—	△149
売上債権の増減額(△は増加)	△912,782	567,792
たな卸資産の増減額(△は増加)	△96,954	△335,228
仕入債務の増減額(△は減少)	54,256	339,727
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,490	△10,404
その他	△123,716	△114,152
小計	321,102	1,826,355
利息及び配当金の受取額	12,815	12,994
利息の支払額	△40,231	△36,626
法人税等の支払額	△300,124	△170,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,438	1,632,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△384,333	△767,483
有形固定資産の売却による収入	—	150
有形固定資産の除却による支出	△384	△2,513
無形固定資産の取得による支出	△29,238	△66,505
投資有価証券の取得による支出	△128,985	△9,336
貸付金の回収による収入	1,309	1,272
定期預金の預入による支出	△54,413	—
差入保証金の差入による支出	△312	△2,209
差入保証金の回収による収入	115	378
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	72,605
その他	4,461	△4,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△591,782	△778,378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	80,000	1,030,582
長期借入れによる収入	400,000	429,000
長期借入金の返済による支出	△415,805	△430,726
リース債務の返済による支出	△6,925	△33,437
セール・アンド・リースバックによる収入	404,786	—
自己株式の取得による支出	△69	—
配当金の支払額	△232,851	△228,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,135	766,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,181	△14,272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△394,266	1,606,717
現金及び現金同等物の期首残高	3,015,479	2,542,645
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,621,213	4,149,362

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

（1）連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間に設立したNAKAMOTO PACKS VIETNAM COMPANY LIMITEDについて、当第2四半期連結会計期間に出資が完了したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社の株式を追加取得したことにより、連結の範囲に含めております。

（2）持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、三国紙工株式会社の株式を追加取得し連結の範囲に含めたため、持分法適用の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（追加情報）

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期に関して不確実性が高い事象であると考えております。

本件が当社グループの業績に与える影響は、当初、2020年夏頃まで続くと仮定しておりましたが、終息時期は未だ予測することが出来ない状況にあるため、翌連結会計年度以降も一定期間にわたり継続するとの仮定に変更し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。